

## スプリアス測定機能の パラメータ利用方法

シグナルアナライザ MS2830A/MS2840A/MS2850A

本書は、シグナルアナライザ MS2830A/MS2840A/MS2850A(以下、本体)の標準測定機能である「Spurious Emission」について、本体で作成したパラメータファイルをコピーしてご利用 いただく際の操作方法について紹介します。

ケース①:本体で作成したパラメータファイルをPC/HDD/USBメモリ等で管理 <バックアップ>



ケース②: バックアップされたパラメータファイルを本体へコピー



スプリアス機能のパラメータファイルの保存フォルダ: "D:¥Anritsu Corporation¥Signal Analyzer¥User Data¥Parameter Setting¥Spectrum Analyzer"



User Guide

### スプリアス測定機能のパラメータファイルを PC/HDD/USBメモリ等で管理 <バックアップ>

あらかじめ本体の「Spurious Emission」 機能で、各種パラメータを設定します。 ※設定方法は、取扱説明書をご覧ください。

「Spurious Emission」機能におけるパラメータを保存します。

### 【操作手順】

- ① [SPA]
- ② [Measure]
- ③ [F5: Spurious Emission]
- ④ [→] (2ページへ)
- ⑤ [F7: Save Spurious Emission Parameter]
- ⑥ 保存先のファンクションキー(F1~F8)を押します。



## バックアップされたパラメータファイルを本体にコピー

「Spurious Emission」のパラメータファイル(SEParam\_xx.xml:xxは01~08)をUSBメモリ等 にコピーし、コピー先のMS2830A/MS2840A/MS2850A内部の指定フォルダへコピーします。

#### 【操作手順】

1. パラメータファイルをUSBメモリ等へコピーします。

名前	サイズ	種類
🔮 SEParam_01.xml	44 KB	XML ドキュメント
📄 SEParam_02.xml	44 KB	XML ドキュメント
🖹 SEParam_03.xml	44 KB	XML ドキュメント
📄 SEParam_04.xml	44 KB	XML ドキュメント
📄 SEParam_05.xml	44 KB	XML ドキュメント
SEParam_06.xml	44 KB	XML ドキュメント

- 2. USBメモリをコピー先のMS2830A/MS2840A/MS2850Aへ挿入します。
- 3. MS2830A/MS2840A/MS2850Aの画面にて、デスクトップ画面を表示します。
  - > マウス右クリック
  - Show the Desktop
- 4. 手順1でコピーしたUSBメモリ内のフォルダを開きます。
  - Start
  - My Computer
  - ▷ USBメモリのドライブをダブルクリック
  - ▶ 手順1のフォルダを開きます。
- 5. MS2830A/MS2840A/MS2850Aの下記フォルダを開き、パラメータファイルをコピーします。

スプリアス測定機能 パラメータ保存先フォルダ <sup>注</sup> "D:¥Anritsu Corporation¥Signal Analyzer¥User Data¥Parameter Setting¥Spectrum Analyzer"

※ 指定フォルダに別のパラメータファイルがある場合は上書きされます。 必要に応じてバックアップをとるなど退避してください。

注:一度もパラメータファイルをセーブしたことがない場合、指定フォルダが生成されていません。その際には、 下記の手順で一度パラメータファイルをセーブしてください。後から上記のパラメータファイルを上書きする ので、デフォルト設定のままセーブしていただいて結構です。 【手順】[SPA] > [Measure] > [F5: Spurious Emission] > [→](2ページ目) > [F7: Save Spurious Emission Parameter] > [F1: Register 1]

## パラメータファイルを認識

「Spurious Emission」のパラメータファイルは、MS2830A/MS2840A/MS2850A内部の指定 フォルダにコピーしただけでは利用できません。

「Spectrum Analyzer」のアプリケーションを一度アンロードし、再度ロードすることでコピー されたパラメータファイルを認識※します。

※ MS2830A/MS2840A/MS2850Aを再起動した場合でも認識します。

#### 【操作手順】

- 1. アプリケーションから「Spectrum Analyzer」をアンロードします。
  - [System Config]
  - > [F4: Application Switch Setting]
  - F2: UnLoad Application Select](画面上側にカーソルがある状態)
  - Spectrum Analyzer」にカーソルを合わせます
  - ▶ [F7: Set]
  - ▶ 確認画面で[OK]
  - 画面上側「Loaded Applications」から「Spectrum Analyzer」が 消えたことを確認します。

Application Switch Registration				
Applicati	on Switch Registration			
Loaded Applic	ations			
Туре	Name	Version	Position	
—	-	-	P1 - F1	
MX269000A	Signal Analyzer	10.01.00	P1 - F2	
MX269000A	Signal Generator	10.01.00	P1 - F3	
-	-	-	P1 - F4	
-	-	-	P1 - F5	
			<b>D4 C0</b>	

- 2. 「Spectrum Analyzer」を再度ロードします。
  - [System Config]
  - [F4: Application Switch Setting]
  - > [F1: Load Application Select] (画面下側にカーソルがある状態)
  - Spectrum Analyzer」にカーソルを合わせます
  - ▶ [F7: Set]
  - 画面上側「Loaded Applications」に「Spectrum Analyzer」が 表示されていることを確認します。

Application Switch Registration					
Application Switch Registration					
Loaded Applica	tions				
Туре	Name	Version	Position		
MX269000A	Spectrum Analyzer	10.01.01	P1 - F1		
MX269000A	Signal Analyzer	10.01.00	P1 - F2		
MX269000A	Signal Generator	10.01.00	P1 - F3		
-	-	-	P1 - F4		
_	_	_	D1 – F5		

## スプリアス機能でパラメータファイルをリコール

「Spectrum Analyzer」の「Spurious Emission」にてパラメータファイルをリコールします。

【操作手順】

- ① [SPA]
- ② [Measure]
- ③ [F5: Spurious Emission]
- ④ [→] (2ページへ)
- (5) [F8: Recall Spurious Emission Parameter]
- ⑥ 任意のパラメータファイルを選択します。



「Spurious Emission」にてパラメータファイルをリコールする際に画面に表示される文字を変更する方法について紹介します。

#### 【操作手順】

1. PC等にて、パラメータファイルをテキストエディタ(メモ帳など)で開きます。



2. 下図の部分のテキストを任意の文字列に変更し、上書きします。

SEParam_01.xml - メモ帳			
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)			
xml version="1.0" encoding="utf-8"?	Value を修正します。		
<pre>!Application XML Parameter&gt;</pre>	変更前: 03/13/2017 10:15		
(SpuriousEmission)	変更後: CF=ch1		
Attribute Name- Datelime Value- UF-chi //			
Attribute Name="Frequency Offset Value" Value="0" /	∧		
<pre><attribute name="Frequency Band Spurious Mode" value="Normal"></attribute></pre>			
< <u>Attribute Name="Reference Level Offset" Value="On" /&gt;</u>			
Attribute Name= Keterence Level Uttset Value" Value	e= 3000 />		

3. 名称変更したパラメータファイルを利用する際には、前述の手順に沿って「コピー」「認識」 「リコール」してください。



# **Anritsu** envision : ensure

お見積り、ご注文、修理などは、下記までお問い合わせください。

#### アンリツ株式会社 http://www.anritsu.com 本社 〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1 TEL 046-223-1111 ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 厚木 〒243-0016 神奈川県厚木市田村町8-5 TEL 046-296-1202 FAX 046-296-1239 計測器営業本部 計測器営業本部 営業推進部 TEL 046-296-1208 FAX 046-296-1248 仙台 〒980-6015 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル 計測器営業本部 TEL 022-266-6134 FAX 022-266-1529 名古屋〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル TEL 052-582-7283 FAX 052-569-1485 計測器営業本部 大阪 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル 計測器営業本部 TEL 06-6338-2800 FAX 06-6338-8118 福岡 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田1-8-28 ツインスクエア 計測器営業本部 TEL 092-471-7656 FAX 092-471-7699 ■カタログのご請求、価格・納期のお問い合わせは、下記または営業担当までお問い合わせください。 計測器営業本部 営業推進部 TEL: 0120-133-099 (046-296-1208) FAX : 046-296-1248 受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00、月~金曜日(当社休業日を除く) E-mail : SJPost@zy.anritsu.co.jp ■計測器の使用方法、その他については、下記までお問い合わせください。 計測サポートセンタ-TEL: 0120-827-221 (046-296-6640) 受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00、月~金曜日(当社休業日を除く) E-mail: MDVPOST@anritsu.com ■本製品を国外に持ち出すときは、外国為替および外国貿易法の規定により、日本国政府の輸出許可または役務取引許可が必要となる場合があります。 また、米国の輸出管理規則により、日本からの再輸出には米国商務省の許可が必要となる場合がありますので、必ず弊社の営業担当までご連絡ください。

記載事項は、おことわりなしに変更することがあります。

1602

公知